



2025 年 2 月 14 日

マツダ、タイでの生産・販売体制を強化

- 年間 10 万台の新型小型 SUV の生産体制整備、タイ市場では 27 年までに 5 車種導入 -

マツダ株式会社(以下、マツダ)とマツダセールスタイランド Co., Ltd. (以下、マツダタイランド) は、本日、タイ・バンコクで行った記者会見において、マツダがこれまでタイで培ってきた現地サプライチェーンの強みを生かし、50 億バーツを投資して、タイの生産拠点であるオートアライアンス(タイランド)Co., Ltd.を年間 10 万台の新型小型 SUV 生産ハブとして整備することを発表しました。これにより、日本や今後も安定した成長が見込まれる ASEAN 市場を中心とした輸出拠点としての役割を強化するとともに、マツダが過去 70 年にわたって参入してきたタイ市場での販売も強化します。

加えて 2025 年から 2027 年にかけて、バッテリーEV 2 車種、プラグインハイブリッドモデル 1 車種、ハイブリッドモデル 2 車種の計 5 車種を導入する計画とし、電動化が進展するタイにおいて、より多くのお客さまに選んでいただけるよう、電動化商品ラインアップを拡充していきます。

このうち 1 つは、新型バッテリーEV の「MAZDA6e」で、マツダと重慶長安汽車股份有限公司(以下、長安汽車)の中国合弁企業である長安マツダ汽車有限公司が製造するものです。タイ向けの「MAZDA6e」は 2025 年中の発表を予定しており、マツダの強みであるデザイン、人馬一体の走行性能、クラフトマンシップと、長安汽車が有する電動技術やスマート技術を融合させた最新の電動車です。このモデルは、同社との長年にわたるパートナーシップの成果であり、中国の他、欧州、タイへ展開します。

記者会見で挨拶したマツダの代表取締役社長兼 CEO の毛籠 勝弘(もろ まさひろ)は「マツダはタイで 70 年にわたり、タイ政府からのご支援をはじめ多くの方に支えられ、強固な事業基盤を築いてきました。改めて関係する皆さまに、深くお礼を申し上げます。私たちは、『前向きに今日を生きる人の輪を広げる』というパーパスの実現に向けて、ステークホルダーの皆さまとの間に信頼と共感の関係を築くことを大切にしています。この理念のもと、電動化が進展するタイのお客さまのご要望に応える、マツダらしい電動化商品を導入するとともに、日本や ASEAN 市場を中心とした小型車輸出拠点としての役割を強化します」と述べました。



プレスカンファレンスの様子



MAZDA6e(欧州仕様)

マツダは、2030 年に向け、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る喜び」を進化させ続け、お客さまの日常に移動体験の感動を創造し、「生きる喜び」をお届けしていくことを目指してまいります。

以上